

ア ン モ ニ ア 水

AMMONIA WATER

【貯法】

気密容器に入れ、
30℃以下で保存。

【使用期限】

3年6カ月（容器又は被包に表示）

日本標準商品分類番号

8 7 2 6 4 3

承認番号	(61AM) 第405号
薬価収載	1986年1月
販売開始	1953年8月
再評価結果	1989年3月

【組成・性状】

1. 組成

本品は定量するときアンモニア 9.5～10.5 w/v%
（本品100 mL中にアンモニア 9.5～10.5 g、日局精
製水適量）を含む。

2. 性状

本品は無色澄明の液で、特異な強い刺激性のにおい
がある。アルカリ性である。比重 d_{20}^{20} : 0.95～
0.96。

【効能又は効果】

1. 経口

アンモニア・ウイキョウ精の調剤原料に用いる。

2. 外用

虫さされ

【用法及び用量】

1. 経口

アンモニア・ウイキョウ精の調剤原料に用いる。

2. 外用

虫さされには、2～10倍に希釈し塗布する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 7) 本剤は必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。
- 4) 眼又は眼の周囲に使用しないこと。
- 9) 眼に入らないように注意すること。入った場合には結膜・角膜に炎症を起こすことがあるので、水洗後、直ちに専門医の処置を受けること。

2. 副作用

過敏症：過敏症状があらわれることがあるので、
このような場合には使用を中止すること
（頻度不明）。

適用部位：局所刺激、発赤、灼熱感等があらわれる
ことがあるので、このような場合には使
用を中止すること（頻度不明）。

3. 適用上の注意

- 7) 刺激作用を有するので、長期間又は同一部位に反
復使用しないこと。特に、湿布等による長期間に
わたる皮膚との接触を避けること。
- 4) 原液又は濃厚液の蒸気を吸入すると、呼吸器等の
粘膜を刺激し、喉頭腫れん、肺・気管支に障害を
起こすことがあるので注意すること。

【薬効薬理】

1. アンモニア水は強い局所刺激作用を有する。
2. アンモニアは去痰作用を有するが、これは局所刺激
による気道分泌の反射的亢進と、吸収後一部炭酸塩
となって気管支粘膜から分泌され、溶解性去痰作用
を現すと共に気管支の繊毛運動を促進することによ
る。

【有効成分に関する理化学的知見】

1. 一般名

アンモニア

2. 化学名

ammonia

3. 分子式

NH₃

4. 分子量

17.03

【包装】

500 mL。

【主要文献】

第13改正日本薬局方解説書，第1部医薬品各条C-157，
廣川書店。

【文献請求先】

タツミ薬品工業株式会社 学術情報部
〒537-0013 大阪市東成区大今里南5丁目14番6号

【製造業者の名称及び住所】

製造発売元 タツミ薬品工業株式会社
大阪市東成区大今里南5丁目14番6号